

2026年7月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）



2026年3月16日

上場会社名 株式会社ツクルバ 上場取引所 東
 コード番号 2978 URL https://tsukuruba.com/
 代表者（役職名） 代表取締役CEO（氏名） 野村駿太郎
 問合せ先責任者（役職名） 取締役CSO（氏名） 北原寛司（TEL）03-4400-2946
 半期報告書提出予定日 2026年3月16日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年7月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年8月1日～2026年1月31日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年7月期中間期	5,241	55.3	△2	—	△67	—	△53	—
2025年7月期中間期	3,375	65.1	58	59.0	22	△3.7	△15	—

（注）包括利益 2026年7月期中間期 △50百万円（—%） 2025年7月期中間期 △15百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年7月期中間期	△5.01	—
2025年7月期中間期	△1.69	—

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年7月期中間期	6,795	1,881	25.7
2025年7月期	6,141	1,931	29.1

（参考）自己資本 2026年7月期中間期 1,745百万円 2025年7月期 1,786百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年7月期	—	0.00	—	—	—
2026年7月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2026年7月期の連結業績予想（2025年8月1日～2026年7月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	48.1	370	34.7	240	20.1	170 ～220	59.4 ～106.3	14.93 ～19.33

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細は、添付資料P.3「1. 当中間決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社 (社名) 株式会社カウカモ工務店、除外 1社 (社名) —
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年7月期中間期	11,736,200株	2025年7月期	11,715,200株
② 期末自己株式数	2026年7月期中間期	335,709株	2025年7月期	335,709株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年7月期中間期	11,397,352株	2025年7月期中間期	11,366,881株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用等にあたっての注意事項については、添付資料「1. 当中間決算に関する定性的情報 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会について)

当社は、2026年3月16日 (月) に機関投資家及びアナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。この説明会で利用する決算補足説明資料はTDnetで本日開示するとともに、当社のウェブサイトにも掲載しております。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種種類株式	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年7月期	—	0.00	—	10,000.00	10,000.00
2026年7月期	—	0.00			
2026年7月期(予想)			—	10,000.00	10,000.00

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間においては、景気は企業収益や雇用・所得環境を中心として堅調さを継続しました。先行きとしては、企業・消費者心理が改善する中で緩やかな回復の継続が期待される一方で、急速な物価上昇の継続が、購買力の低下や消費者心理の悪化を通じて個人消費に影響を及ぼし、景気が下振れするリスクには留意が必要です。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要があります。

当社グループがターゲットとする中古マンション市場は、新築マンション価格の高止まりを受けた中古マンション流通の拡大、及びリノベーションに対する顧客認知の高まりにより、中長期的な拡大基調にあります。足元においては、当社第2四半期期間である2025年11月から2026年1月の3ヶ月間において、首都圏中古マンションの成約件数は11,753件となっており、前年同期比では22.3%増加しております。2026年1月において、成約㎡単価は86.99万円(前年同月比6.3%増)となっており、2020年5月から69ヶ月連続で前年同月を上回りました。成約価格は5,493万円(同6.7%増)となっており、15ヶ月連続で前年同月を上回りました。在庫件数は44,776件(同1.5%減)となっており、6ヶ月連続で前年同月を下回りました。

このような経済環境のもと、当社グループは、主力サービスである中古・リノベーション住宅の流通プラットフォーム「cowcamo(カウカモ)」のマーケティング、営業活動を強化することで、事業規模の拡大を推進してまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は5,241,512千円(前年同期比55.3%増)、営業損失は2,070千円(前年同期は営業利益58,898千円)、経常損失は67,717千円(前年同期は経常利益22,573千円)、親会社株主に帰属する中間純損失は53,553千円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失15,723千円)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産の部)

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して654,412千円増加し、6,795,859千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して685,385千円増加し、6,487,625千円となりました。これは主に、販売用不動産が476,036千円増加、仕掛販売用不動産が939,519千円増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して30,972千円減少し、308,234千円となりました。これは主に、投資その他の資産が46,214千円減少したことによるものです。

(負債の部)

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して704,829千円増加し、4,914,576千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して817,659千円増加し、4,317,288千円となりました。これは主に、短期借入金が867,390千円増加し、1年内返済予定の長期借入金が107,900千円増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して112,831千円減少し、597,287千円となりました。これは主に、長期借入金が93,519千円減少し、社債が26,000千円減少したことによるものです。

(純資産の部)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して50,417千円減少し、1,881,283千円となりました。これは主に、株主資本が43,806千円減少し、新株予約権が9,884千円減少したことによるものです。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して753,555千円減少し、1,067,956千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は1,572,521千円(前年同期は936,163千円の支出)となりました。これは主に、棚卸資産の増加1,427,057千円、未払金の減少113,875千円、税金等調整前中間純損失48,117千円などによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は21,017千円(前年同期は58,867千円の支出)となりました。これは主に、敷金及び保証金の回収による収入30,000千円、投資有価証券売却による収入14,600千円によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は797,949千円(前年同期は1,021,290千円の獲得)となりました。これは主に、短期借入金の増加867,390千円によります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年7月期の連結業績予想につきましては、2025年9月12日に公表いたしました「2025年7月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当中間連結会計期間 (2026年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,867,530	1,118,975
売掛金及び契約資産	148,750	161,925
販売用不動産	1,642,413	2,118,449
仕掛販売用不動産	1,837,075	2,776,594
未成工事支出金	550	4,451
原材料及び貯蔵品	4,751	10,124
その他	301,540	297,504
貸倒引当金	△372	△400
流動資産合計	5,802,240	6,487,625
固定資産		
有形固定資産	89,436	102,891
無形固定資産	—	1,787
投資その他の資産	249,769	203,555
固定資産合計	339,206	308,234
資産合計	6,141,447	6,795,859
負債の部		
流動負債		
買掛金	59,710	59,201
短期借入金	1,667,100	2,534,490
1年内償還予定の社債	72,000	52,000
1年内返済予定の長期借入金	1,206,304	1,314,204
未払法人税等	89,425	1,644
賞与引当金	—	71,275
役員賞与引当金	—	7,302
その他	405,089	277,170
流動負債合計	3,499,629	4,317,288
固定負債		
社債	101,000	75,000
長期借入金	609,118	515,599
その他	—	6,688
固定負債合計	710,118	597,287
負債合計	4,209,747	4,914,576
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,698	23,072
資本剰余金	1,680,772	1,682,146
利益剰余金	156,703	103,149
自己株式	△62,516	△62,516
株主資本合計	1,789,657	1,745,851
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,274	—
その他の包括利益累計額合計	△3,274	—
新株予約権	145,316	135,432
純資産合計	1,931,700	1,881,283
負債純資産合計	6,141,447	6,795,859

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)
売上高	3,375,609	5,241,512
売上原価	1,731,283	3,401,486
売上総利益	1,644,325	1,840,026
販売費及び一般管理費	1,585,426	1,842,096
営業利益又は営業損失(△)	58,898	△2,070
営業外収益		
受取利息	187	1,919
受取手数料	425	916
役員報酬返納額	—	1,500
その他	382	571
営業外収益合計	995	4,907
営業外費用		
支払利息	18,566	34,361
社債利息	251	666
株式交付費	—	1,647
支払手数料	17,739	30,894
その他	762	2,984
営業外費用合計	37,320	70,553
経常利益又は経常損失(△)	22,573	△67,717
特別利益		
新株予約権戻入益	9,711	7,275
投資有価証券売却益	—	2,010
受取保険金	—	10,000
受取補償金	—	11,300
特別利益合計	9,711	30,587
特別損失		
移転関連費用	25,188	—
投資有価証券評価損	5,000	—
固定資産売却損	60	—
特別調査費用等	—	10,987
特別損失合計	30,249	10,987
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	2,036	△48,117
法人税、住民税及び事業税	17,759	1,897
法人税等調整額	—	3,538
法人税等合計	17,759	5,436
中間純損失(△)	△15,723	△53,553
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△15,723	△53,553

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)
中間純損失(△)	△15,723	△53,553
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	460	3,274
その他の包括利益合計	460	3,274
中間包括利益	△15,263	△50,279
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△15,263	△50,279

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	2,036	△48,117
減価償却費	11,044	9,548
株式報酬費用	19,061	14,118
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	28
賞与引当金の増減額(△は減少)	53,361	71,275
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	1,725	7,302
受取利息及び受取配当金	△187	△1,919
支払利息	18,566	34,361
社債利息	251	666
支払手数料	17,739	30,894
株式交付費	—	1,647
新株予約権戻入益	△9,711	△7,275
投資有価証券売却益	—	△2,010
受取保険金	—	△10,000
受取補償金	—	△11,300
特別調査費用等	—	10,987
移転関連費用	25,188	—
投資有価証券評価損	5,000	—
固定資産売却損	60	—
売上債権の増減額(△は増加)	△61,031	△13,175
棚卸資産の増減額(△は増加)	△883,097	△1,427,057
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,600	△508
未払金の増減額(△は減少)	△15,839	△113,875
未払消費税等の増減額(△は減少)	20,517	△24,199
契約負債の増減額(△は減少)	23,670	2,403
その他	△117,311	22,748
小計	△898,556	△1,453,457
利息及び配当金の受取額	155	1,779
利息の支払額	△22,237	△33,750
保険金の受取額	—	10,000
補償金の受取額	—	11,300
特別調査費用等の支払額	—	△18,715
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△15,524	△89,677
営業活動によるキャッシュ・フロー	△936,163	△1,572,521
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△5,000
有形固定資産の取得による支出	△13,545	△18,073
投資有価証券の売却による収入	—	14,600
敷金及び保証金の差入による支出	△21,000	△8,206
敷金及び保証金の回収による収入	600	30,000
貸付けによる支出	△25,062	—
貸付金の回収による収入	140	7,696
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58,867	21,017

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	548,484	867,390
長期借入れによる収入	987,200	716,800
長期借入金の返済による支出	△417,610	△702,419
社債の償還による支出	△74,000	△46,000
ストックオプションの行使による収入	1,549	21
新株予約権の発行による収入	406	—
支払手数料の支払額	△17,739	△30,842
配当金の支払額	△7,000	△7,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,021,290	797,949
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	26,260	△753,555
現金及び現金同等物の期首残高	1,871,872	1,821,511
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,898,132	1,067,956

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、cowcamo(カウカモ)事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。